

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ストライダーズ
 コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 兼 CFO
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 早川 良一
 (氏名) 前田 嘉也

TEL 03-5777-1891

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,225	70.0	△45	—	0	—	61	—
25年3月期第2四半期	720	41.1	△117	—	△98	—	△98	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 23百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △113百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.76	0.76
25年3月期第2四半期	△1.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	1,929	1,031	52.1	12.35
25年3月期	1,992	988	48.1	11.93

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,004百万円 25年3月期 958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	52.1	10	—	53	—	100	—	1.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	81,330,896 株	25年3月期	80,330,896 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	25,198 株	25年3月期	25,198 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	80,404,328 株	25年3月期2Q	74,306,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策、金融政策等を背景に円安や株価上昇が進み、個人消費も回復に向かうなど徐々に景気回復に向けた兆しが見られるようになりました。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、M&Aによる新たな収益源の獲得や新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねる一方、人件費・外注費の削減等のコストダウンに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,225百万円（前年同四半期比70.0%増）、営業損失45百万円（前年同四半期は営業損失117百万円）、経常利益0百万円（前年同四半期は経常損失98百万円）、四半期純利益61百万円（前年同四半期は四半期純損失98百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① I T 関連事業

I T 関連事業につきましては、Webマーケティング事業の中古車情報検索・車買取一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」は、主要キーワードによる検索順位の低下が続き、売上が減少しております。また、モバイルリンク株式会社がやっている車載端末システムの受託開発は、契約およびシステムの導入が期末に集中する傾向が強く、新規顧客獲得に向けた営業活動に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のI T 関連事業の売上高は69百万円（前年同四半期比33.9%減）、営業損失は16百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）となりました。

② 不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、新設住宅着工件数（貸家）は引続き増加傾向にあり、マーケットは回復基調にあります。このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、マーケット環境及び物件の特性を的確に捉えた営業活動を積極的に展開し、入居率向上や、賃料水準の維持を図ってまいりました。新規のサブリース契約が順調に増加しており、売上の増加に寄与しております。なお、都内2カ所不動産仲介を行っていた店舗を8月末に事業譲渡いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は702百万円（前年同四半期比30.0%増）、営業利益は20百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

③ 食品関連事業

食品関連事業につきましては、中華麺等の製造販売を行っている有限会社増田製麺は、神奈川県における横浜家系ラーメンの製麺を主力とし、従来からの品質の維持に加え、業務の効率化やコスト削減等に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は107百万円（前年同四半期比72.5%増）、営業利益は14百万円（前年同四半期比208.8%増）となりました。

④ ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテルを運営しており、景気回復に伴う日本人海外旅行客数の増加、台湾を中心とした訪日外国人旅行客数の増加等により、宿泊者数は増加し、平均稼働率も高水準を保っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は342百万円、営業利益7百万円となりました。ホテル関連事業の前年同四半期比については、前第4四半期より開始した事業のため記載しておりません。

⑤ その他の事業

その他の事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において企業再生再編事業を行っており、資金調達等のコンサルティング業務に取り組んでまいりました。また、グローバル芸術家有限責任事業組合において現代美術家の絵画作品等に投資を行っており、作品価値の向上を図るため、展示会への出品等を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は3百万円（前年同四半期比74.0%減）、営業利益は0百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ355百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が380百万円増加したことによるものであります。固定資産は818百万円となり、前連結会計年度末に比べ417百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が418百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,929百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は420百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。これは主に買掛金が38百万円、未払金が52百万円減少したことによるものであります。固定負債は477百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が21百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、898百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益61百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.1%（前連結会計年度末は48.1%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は942百万円となり、前連結会計年度末に比べ380百万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益の計上や、為替差損益等により3百万円の資金の減少となりました。前年同四半期と比べますと70百万円の増加となっております。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が162百万円増加したこと、為替差損益が75百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、投資有価証券の償還による収入等により354百万円の資金の増加となりました。前年同四半期と比べますと560百万円の増加となっております。

主な要因は、投資有価証券の償還による収入が418百万円増加、事業譲受による支出が100百万円増加、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が122百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、29百万円の資金の増加となりました。前年同四半期と比べますと32百万円の増加となっております。

主な要因は、長期借入れによる収入が30百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、平成25年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予測に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	562,123	942,395
売掛金(純額)	110,263	74,904
有価証券	—	23,146
たな卸資産	21,499	23,576
その他	61,989	46,865
流動資産合計	755,875	1,110,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	358,318	343,170
その他(純額)	131,902	136,145
有形固定資産合計	490,220	479,316
無形固定資産		
のれん	238,714	251,915
その他	10,896	8,976
無形固定資産合計	249,610	260,892
投資その他の資産		
投資有価証券	426,866	32,073
関係会社株式	9,523	—
その他	60,197	46,291
投資その他の資産合計	496,586	78,365
固定資産合計	1,236,418	818,573
資産合計	1,992,293	1,929,463
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,991	47,201
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	38,083	45,295
未払金	115,212	62,303
未払法人税等	8,835	6,572
賞与引当金	12,825	13,760
預り金	86,518	78,921
その他	114,711	116,452
流動負債合計	512,178	420,508
固定負債		
長期借入金	258,416	263,620
退職給付引当金	5,606	5,924
長期預り敷金保証金	205,549	207,338
繰延税金負債	22,209	918
固定負債合計	491,782	477,801
負債合計	1,003,960	898,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,371,406	1,381,021
資本剰余金	57,000	66,615
利益剰余金	△502,879	△441,370
自己株式	△2,952	△2,952
株主資本合計	922,574	1,003,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,052	1,497
その他の包括利益累計額合計	36,052	1,497
新株予約権	690	910
少数株主持分	29,015	25,432
純資産合計	988,333	1,031,153
負債純資産合計	1,992,293	1,929,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	720,674	1,225,275
売上原価	536,870	699,893
売上総利益	183,804	525,382
販売費及び一般管理費	301,496	571,316
営業損失(△)	△117,691	△45,934
営業外収益		
受取利息	383	85
受取配当金	25,115	48,840
受取手数料	2,937	1,420
貸倒引当金戻入額	228	274
その他	2,868	7,076
営業外収益合計	31,532	57,697
営業外費用		
支払利息	598	4,818
有価証券評価損	—	2,116
新株発行費	—	2,425
為替差損	9,435	—
雑損失	2,211	1,566
営業外費用合計	12,245	10,927
経常利益又は経常損失(△)	△98,404	834
特別利益		
為替差益	—	66,087
その他	—	446
特別利益合計	—	66,534
特別損失		
固定資産除却損	1,180	—
事業譲渡損	—	4,360
特別損失合計	1,180	4,360
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△99,584	63,008
法人税、住民税及び事業税	1,065	5,083
法人税等合計	1,065	5,083
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△100,649	57,925
少数株主損失(△)	△2,517	△3,583
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△98,131	61,509

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△100,649	57,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,836	△34,554
その他の包括利益合計	△12,836	△34,554
四半期包括利益	△113,486	23,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,968	26,954
少数株主に係る四半期包括利益	△2,517	△3,583

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△99,584	63,008
減価償却費	6,907	14,364
のれん償却額	37,808	22,799
貸倒引当金の増減額(△は減少)	339	573
その他の引当金の増減額(△は減少)	△2,069	1,252
受取利息及び受取配当金	△25,499	△48,925
支払利息	598	4,818
有価証券評価損益(△は益)	—	2,116
新株発行費	—	2,425
為替差損益(△は益)	9,435	△66,131
事業譲渡損益(△は益)	—	4,360
固定資産除却損	1,180	—
売上債権の増減額(△は増加)	42,731	34,885
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369	△2,077
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,601	△38,790
預り金の増減額(△は減少)	△20,088	△7,596
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△11,733	1,789
その他	9,070	△29,530
小計	△89,872	△40,657
利息及び配当金の受取額	25,499	48,925
利息の支払額	△565	△4,734
法人税等の支払額	△9,878	△7,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,816	△3,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△94,464
有価証券の売却による収入	—	71,138
有形固定資産の取得による支出	△3,011	△7,955
無形固定資産の取得による支出	△2,989	△640
事業譲受による支出	△100,238	—
投資有価証券の取得による支出	△7,082	△10,001
投資有価証券の償還による収入	—	418,909
関係会社株式の売却による収入	—	5,016
連結子会社株式の追加取得による支出	—	△36,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△122,007	—
貸付金の回収による収入	30,000	298
差入保証金の差入による支出	△414	△28
差入保証金の回収による収入	—	8,445
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,743	354,719

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	30,000
長期借入金の返済による支出	△3,000	△17,583
自己株式の取得による支出	△4	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	18,878
新株予約権の発行による支出	—	△1,453
その他	—	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,004	29,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,435	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△293,000	380,272
現金及び現金同等物の期首残高	778,909	562,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	485,909	942,395

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ9,615千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,381,021千円、資本剰余金が66,615千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	104,552	540,782	62,439	12,900	720,674	—	720,674
計	104,552	540,782	62,439	12,900	720,674	—	720,674
セグメント利益 又は損失(△)	△26,857	△9,493	4,784	△9,646	△41,212	△76,478	△117,691

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△76,478千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T 関連 事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	69,102	702,753	107,574	342,488	3,357	1,225,275	—	1,225,275
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	113	—	—	113	△113	—
計	69,102	702,753	107,687	342,488	3,357	1,225,389	△113	1,225,275
セグメント利益 又は損失(△)	△16,608	20,537	14,775	7,917	906	27,528	△73,463	△45,934

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△73,463千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「企業再生再編事業」は量的な重要性が乏しいため、「その他の事業」に含めて記載しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。